

1 週間の時間割例

[2 年次] 総合科目、基礎科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			民族誌		ターボ動力工学 I
2	機械力学	補助機械工学	電気工学	内燃機関工学 I	制御工学 I
3	環境材料学	Effective English II	伝熱工学	振動と波動	複素解析
4	化学実験	確率論	電子機械工学実習	Interactive English II	
5	化学実験		電子機械工学実習		国際政治学
集中 (10 月) / 船舶実習 I (2 年次)					

[3 年次] 専門科目、応用科目中心

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	信頼性工学	信号情報処理	ターボ動力工学 II	ソフトウェア工学	機関英語 I
2	エネルギー工学	Effective English I	機械学習	半導体工学	海運経営論
3	冷凍空調工学	内燃機関工学 II [機関]		Intensive English I	制御工学 II
4	機械設計製図 [機関] 電子機械工学実習 [制御]	電子機械工学実習 [機関] 機械設計製図 [制御]	ロボット工学 I		電気機器学
5			材料・ 機械力学演習		
集中 (11 月) 船舶実習 II [機関] / 集中 (11 月) 制御システム工学演習及び船舶実験 (汐路丸) [制御]					

[機関] …機関システム工学コースの科目
[制御] …制御システム工学コースの科目

取得可能資格

- 高等学校教諭一種免許状 (商船・工業)
- 三級海技士 (機関)※1
- 船舶衛生管理者※2

※1 本学は第一種養成施設として国の登録を受けており、機関システム工学コース及び乗船実習科 (p.43) を修了すれば、筆記試験が免除されます。

※2 機関システム工学コース及び乗船実習科 (p.43) を修了後、講習受講により取得できます。

卒業後の進路

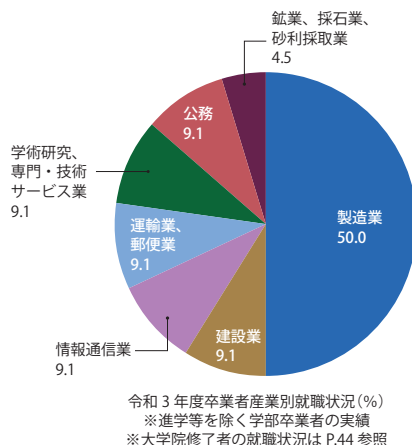
令和3年度卒業生 (%)

大学院進学	34.4
乗船実習科進学	24.6
就職	34.4
その他	6.6

就職先

IHI 原動機、飯野海運、石井鐵工所、いすゞ自動車、出光タンカー、今治造船、内海造船、NS ユナイテッド海運、NOK、海技教育機構、かもめプロペラ、川崎汽船、キャノン、国土交通省、五洋建設、ENEOS オーシャン、ジャパンマリンユナイテッド、商船三井、スズキ、セイコーエプソン、全日本空輸、ダイキン工業、ダイハツディーゼル、常石造船、東亜建設工業、日本海事協会、日本海洋掘削、日本郵船、東日本旅客鉄道、日立建機、富士通ゼネラル、本田技研工業、三井 E&S、三菱電機、ヤマハ発動機、ヤンマー 等

就職先業種



学科担当教員の研究分野・内容

■ 内燃機関

船用ディーゼル機関の燃焼および排ガス浄化に関する研究

■ ターボ動力

蒸気およびガスタービンシステムに関する研究

■ 機械設備

冷凍・空調に関連するシステムなどのエネルギー有効利用に関する研究

■ 動力エネルギー

船用ボイラや原子炉等の伝熱流動特性の改善や安全性の向上に関する研究

■ 電気動力

パワーエレクトロニクスに基づく電力変換技術と船舶省エネに関する研究

■ トライボロジー

材料、設計、潤滑のアプローチから機械の摩擦・摩耗特性を向上する研究

■ エネルギー変換

家庭・産業用の冷凍空調機器・ヒートポンプ・熱交換器の省エネ・システム高性能化に関する研究

■ 機械材料

新再生可能エネルギー用材料とインフラ構造物高寿命化 (腐食・金属疲労) に関する研究開発

■ 機械設計

小型機械から大型機械まで、可動部の摩擦潤滑に関する研究

■ システム物理

シミュレーション等への物理学の応用研究

■ 電子デバイス

分子デバイス・バイオセンシング素子の開発等、これまでにない機能を持つ新規デバイスの研究

■ ロボット

水中・水上ビーグルなど海洋探査機器ならびに関連要素技術に関する研究

■ オートマティクス

制御システムの設計法とその船舶、ロボット、プラントなどへの応用についての研究

■ 機関管理

船舶の機関室全体の最適管理に関する研究

■ 情報通信

ソフトウェア、ハードウェアを通じた情報通信技術と応用に関する研究

■ 電子制御

産業機器、交通・輸送機器等の電子制御、コンピュータ制御に関する研究

■ 大気環境物理

地球大気、雲、エアロゾル等が地球環境へ与える影響に関する研究及び大気レーザーリモートセンシング手法の研究

■ 物質科学

新規磁気機能開拓のための物質合成と物性評価に関する研究